

たわれじ



「令和2年をどう過ごしますか？」

プログラム責任者 安部 睦美



明けましておめでとうございます。
令和に変わって初めてのお正月ですね。医師として1年過ごした研修医の皆さん、もうすぐ卒業の皆さん、
どんなお正月でしたか？

世の中は災害の一年でした。そして災害はいつ起こるかわかりません。環境ひとつとっても以前とは異なっ
てきています。とにかく何が起きるかわからない日々、私たちができることは・・・「毎日をどう過ごすか？」「何か大
変なことがおこっても困らないように過ごす」ことが大切だと思いませんか？ 皆さんは「今、予想外のことが起こっ
ても困りませんか？」令和2年の始まり、この一年をどう過ごすか？なにかあったらどうするか？考えてみてはどう
でしょう。そして、その内容を自分の大切だと思う人に伝えてみましょう。

ACP (Advance Care Planning) とは？今を、これからをどう過ごすか、過ごしていきたいか？を大切な人と話し合う
ことで、その人の意思が確認できない状況になったときに、その人が希望していたように、また周囲もその人の考えを
尊重できるように大切な人や医療者（病気になった場合）とともに話し合うことです。病気になったときはもちろんで
すが、元気な時から「もし・・・」ということも含めてこれからを考えておくことは必要なことではないでしょうか？
オリンピック・パラリンピック2020の令和2年、素敵な一年になりますように。

臨床研修病院としての役割

地域の中核病院としての機能を有する当院において、最新の医療施術及び情報を提供し、病院全体として医師の臨床研修を積極的に支援する。

初期臨床研修

理念

プライマリ・ケアから高度な医療まで幅広い経験を積むとともに、
様々な医療従事者と密接な連携のもとで多くの患者に接することにより、
医師として必要な人格を育み、広く社会の医療福祉に貢献できる人材を育成する。

基本方針

- ① 臨床医として必要なプライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を修得する。
- ② 人としても信頼される人格・素養を身につけ、思いやりの心を持って患者およびその家族に向き合い患者中心の全人的医療を行える。
- ③ チーム医療の一員としての役割を理解し、他職種と協働して診療することができるコミュニケーション能力を身につける。
- ④ 医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤ 地域の中核病院としての役割を理解し、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚し、行動できる。

歯科医師臨床研修

理念

患者中心の全人的医療を理解した上で、歯科医師としての人格を涵養し、総合的な診療能力を身につけ、臨床研修を生涯教育の第一歩とします。

基本方針

- ① 全人的で科学的根拠に基づいた医療を実践できるよう、歯科医師として必要な基本的診療能力を身につける。
- ② 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- ③ メディカルスタッフや地域の担当者等幅広い職種の人達とコミュニケーションを十分にとり、チーム医療を推進する。
- ④ 医療安全の本質を理解し、実践する能力を身につける。
- ⑤ 歯科医師としての良識と品格を備えるよう努力する。



発表してきました！

2 年次研修医 恩村 香澄

この度、私は第 120 回日本内科学会中国地方会にて「肺扁平上皮癌に対する免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) 投与中に 1 型糖尿病を発症した 1 剖検例」、第 106 回日本神経学会中国・四国地方会にて「免疫抑制剤投与中に発症し急激な経過を辿った成人インフルエンザ脳症の 1 例」という演題で発表させていただきました。今回が初めての学会発表、さらに 2 つの演題を並行しての準備だったこともあり、戸惑うことも多々ありましたが、前者は呼吸器内科小西先生、後者は神経内科高井先生をはじめ、両演題とも本当に多くの先生方に熱心にご指導いただき、無事に 2 つの発表を終えることが

できました。症例を通して学んだこと、そしてこの貴重な経験を今後活かしていきたいと思えます。最後に、今回の発表に際してご指導くださった諸先生方に心より感謝申し上げます。



1 年次研修医 圓道 豪

2019 年 8 月 17 日米子市文化ホールで行われた第 54 回山陰麻醉学会にて「二分脊椎を有する患者に硬膜外麻酔を行った一例」という演題で発表する機会をいただきました。学会発表は学生時代から通しても初めての経験で、勝手がわからない部分や不安も大きかったです。その中でも自分なりに勉強し、なんとか無事発表を終えることができました。学会の規模は山陰と決して大きくはありませんでしたが、学びが多く良い経験になりました。このような機会を設けてくださり、ご指導いただきました山崎先生をはじめ麻酔科の先生方には大変感謝しております。今回の経験を活かし今後の研修にも励んでいきたいと考えております。ありがとうございました。



地域医療研修合同説明会

来年度の地域医療研修に向けて、1 年次研修医を対象に研修協力施設合同説明会が松江赤十字病院で開催されました。皆さん、協力施設の先生方のお話に聞き入っていました。どこの施設もしっかり指導して頂いています。来年、1 年次の先生方がどこで地域医療研修をするのか楽しみです！



1 年次研修医 藤瀬 美琴

11 月 23 日、24 日に山口県で開催されました第 62 回日本呼吸器学会中国・四国地方会にて症例報告させていただきました。初めての学会発表で分からないことばかりでしたが、無事発表を終えることができ、ほっとしています。緊張のあまり震える声を抑えながらでありましたが、この度の発表では初期研修医優秀演題賞を頂き、大変嬉しく思っております。また、演題なしで参加した学会と心構えも異なり、内容だけでなく発表スタイルも、といった新たな視点を持って先輩方の発表を拝聴することができました。このような貴重な機会を頂いたことに感謝し、丁寧にご指導くださった呼吸器内科の小西先生、予演等でお世話になりました先生方に心より御礼申し上げます。



地域医療の現場から

町立奥出雲病院

2 年次研修医 松原 加歩

8 月に 1 ヶ月間奥出雲病院にて研修をしました。私は外科志望のため、院長先生が指導医としてついていただき、毎日外来や手術など想像以上に充実した忙しい毎日でした。外来ではほとんどの人が良く知っている人だったり長年の患者さんだったり、とてもアットホームな雰囲気です。患者と医師との信頼関係の深さを実感しました。また、地域医療ならではの終末期の医療や療養病棟なども体験することができ、とても勉強になりました。手術もしっかりでき、やりたいと言ったらほとんど何でもやらせてもらえてうれしかったです。術前術後管理をすべて任せられても不安でしたが、わからないことがあればいつでも教えてくださり、今後のことを考えるととても勉強になりました。また、毎日振り返りの時間を設けていただいたり、時間があるときは一緒に入院患者の回診や今後の方針を決めたりなどしっかり指導いただきながら研修することができました。

奥出雲はそばや日本酒がおいしく、毎週のように先生と日本酒を飲みかわしながら医療の話やプライベートについて遅くまで話し込んでいました。患者さんも看護師さんもとても優しく、地元の人のようにフレンドリーに接していただき、とても気持ちよく研修することができました。1 ヶ月という短い間でしたが今後の診療に大いに役立つ有意義な時間を過ごすことができました。



隠岐広域連合立隠岐病院

2 年次研修医 上谷 直希

隠岐病院では研修医が主体的に動き、救急外来や病棟患者さんの方針決定を考え、ご家族およびご本人、あるいは退院後の施設との話し合いの場に参加したりできる研修でした。3 年目活躍するためにも非常に有意義な 1 ヶ月だったと思います。

島根大学医学部附属病院

歯科研修医 大野 雅和

初期研修プログラムの一環で 11 月の 1 ヶ月の間島根大学附属病院口腔外科へ研修に行ってきました。実際に研修してみて驚いたのが舌癌、歯肉癌等の口腔がん患者の多さで、週に 3 日、月水金曜日の手術日にはだいたい癌の手術があり、気管切開から頸部郭清術を行い有茎皮弁や遊離皮弁で再建するという長時間のものが多数を占めていました。他にも顎顔面外傷で救急外来から受診された骨折等多数の外科処置があり初期対応や手術中の注意点などとても勉強になりました。多くの手術に入らせていただき、その中で 1 番印象に残っていることが准教授の菅野先生がいわれた「手術で一番大事なことは意識して左手を使うこと。左手で視野を確保して組織を把持展開することでメスを当てる場所が明確に、かつ右手が力まなくなるため正確さが向上するよ。」という言葉です。大学から戻り自分の患者に応用したところ以前より安定感が増し、手術の場でも役立つことが多いです。ほかにも日々の診療に役立つ知識が多く学べ、1 ヶ月という短い期間でしたが充実した大学での研修ができました。

官舎の写真です



歯科研修医 中山 舜

初期研修プログラムとして 1 ヶ月間島根大学医学部附属病院口腔外科にて研修をしてきました。大学病院では様々な症例の手術や周術期管理、また緊急搬送されてくる外傷の患者さんの対応などをみました。週 3 日ある手術日には朝から夜まで手術室にこもりっぱなしで手術件数の多さに驚きました。またカンファレンスも松江市立病院とは違い、放射線科や耳鼻咽喉科の先生方と症例について話し合っている様子を見学させていただき、口腔外科からの視点のみならず近接している科からの意見も大切だと感じることができました。さらに大学病院ということもあり時間をみつけて研究する姿や医科の学生への講義をする風景などをみて診療を行うのみでなく教育、研究施設であるのだと感じることができました。

指導医からヒトコト

歯科口腔外科 成相 義樹



令和元年度も早くも9ヵ月が経過しました。松江市立病院での研修はいかがでしょうか。歯科の臨床研修は歯を削ったり、抜歯をしたりと、治療の手技、技術に偏重する傾向があります。しかし、治療は正確な診断に基づいたものでなければならず、正確な診断のために所見を取ることは基本であり、他の診療科となんら変わりません。研修中は能動的に診断、治療を考えるよりも、受け身で指示された処置、手技を行うことが多いと思いますが、口腔、顎骨を専門にする者として、体の中で、また局所で何が起きているのかを常に考えて所見をとり、自分なりの診断、治療方針を考えながら、研修に望んでください。

病院での研修は他科のドクター、他職種のスタッフとの連携を要する場面も多く、医科歯科関係なく同じ研修医として学べる機会もあります。これからの歯科医師としてのキャリアの礎として、この恵まれた環境での研修期間を有意義に過ごしてください。

近年、口腔と全身の関わりや、口から食べることの重要性が認知されるようになり、医科歯科連携が話題になることも増えました。医科の研修医の先生方とは接点が少ないですが、口腔に関連する疑問、患者さんの口腔症状や困り事などあれば、気軽に相談ください。歯科が何をやっているか、見聞きして理解を深めていただければ、と思います。

研修風景

<ACLS 研修>

呼吸器内科小西指導医のもと全研修医受講必須としています。認定後も復習研修も実施しています。みんな真剣!!



<手術室での研修>



<CVC 穿刺研修>

麻酔科山崎指導医・小山指導医により複数回研修します



みんな
がんばってるなあ〜



 **松江市立病院**
Matsue City Hospital

〒690-8509
島根県松江市乃白町 32 番地 1
TEL(0852)60-8000(代)
FAX(0852)60-8005

発行者 / 松江市立病院病院長 紀川純三 編集・作成 / 総務課